

花の種からの育て方

1 目的

市民による道路等の花壇づくりを支援し、市民協働による地域緑化を進め、緑豊かなまちづくりを推進するため、「市民花壇づくり支援花株助成事業（花株助成事業）」を行っていますが、近年、肥料や培養土など資材やエネルギー等の価格上昇から花苗の価格が急上昇し、助成できる花株の数が限られる状況にあります。できるだけ皆様の緑化活動が継続できかつ配布できる花の数を増やしたいということから、市民協働で花の種からの育成について、取り組むものです。

2 花の種からの育成について

（1）配布する花の種の種類



コスモス「サニー」
花色：黄色～オレンジ
草丈：およそ 30cm
※花壇への直播き

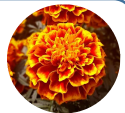


コスモス「ディアボロ」
花色：赤
草丈：およそ 50cm
※花壇への直播き



マリーゴールド「ボナンザ」
花色：黄色，オレンジ
草丈：およそ 20cm
※苗作り，花壇への直播き
※花株助成で配布している種類

フレーム
花弁が2色



（2）花壇への種の直まき コスモス，マリーゴールド

花壇の土の状態がある程度良ければあまり手をかけず，育ちます。

種まきから本葉が3～4枚出るまでの間は，乾燥するようなら水やりします。

本葉が3～4枚出てからは水やりはほとんど必要ありません。



地ごしらえ
土を耕してふかふかに。
植え付け前に水をまく。



種まきから
3週間後
20～30cm 間隔で種子を点播きする。
※写真は 30cm 間隔で点播きしたもの。
植え付け後水やり。



開花（8月頃）
手前：コスモス サニー
奥：コスモス ディアボロ

(3) 家庭での苗づくり

マリーゴールド

ビニールポットでの苗づくり

この写真の場所は土の状況が悪い花壇です。
種の直播きは全滅してしまいましたが、
苗で植え付けたものは開花しました。



ビニールポットに培養土を入れ、2粒程種をまきます。
種にかぶせる土は 5mm くらいに。
土は植え付ける前に湿らせておきます。

ビニールポットの底穴は、枯葉でふさぐとそのまま植え付けてきて便利でした。

本葉出るまでの間は、底面給水します。
ビニールポットを受け皿に置き、受け皿に水を注ぎます。
ジョウロで上からかけるのではなく、ビニールポットの底穴から水を吸わせます。

苗を植付け後、
約1週間で開花
(6月下旬)

芽が出るまでは、乾燥する方が悪影響なので水につけたままにしておきます。

本葉が出れば、水につけすぎるのは良くありません。
また、上からジョウロで水をあげても大丈夫。

土の状態が悪い場所（直接、種を直播きして育たなかった場所）でも、苗づくりをして植えたところは花を楽しめました。

自宅で2～3週間管理しなければなりません、種から芽吹いて育っていく様子はかわいいものです。

3 ポイント

(1) 土の状況

- ・コスモスの場合、土の状況が悪くなくても直播きで育つ可能性が高いが、草丈が高いため、他の種類の生育を阻害してしまうかもしれません。
- ・マリーゴールドの場合、
花壇の土の状況が良い（やわらかい）場合は、直播きでも十分育ちます。
花壇の土の状況が悪い（固い）場合は苗からの育成が無難です。

(2) 種のまき方：土のかぶせ方は花の種類によって違います。

今回助成する花の種（マリーゴールド、コスモス）は、うっすら 5mm 程度土をかぶせる種類です。爪の半分（5mm 程度）の植え穴に種を2粒程まき、周りの土を寄せます。

(3) 植え付け後、芽ばえ、本葉が出るまでは、乾燥させないように。

種まきから1週間くらいで芽が出ます。ひ弱な間は、乾燥させないように、水やりをしてください。

試験栽培の結果：試験栽培に協力して頂いた団体から

うまくいった

- ・土はあまり良くない場所だったが、特にコスモスは良く咲いた。
- ・最初の水やりが少し大変だったけれど、思ったよりも順調に育った。
- ・除草は最初だけ、肥料もやっていないけれど、とてもきれいに咲きました。
- ・最初は水やり、除草など気にかけたが、大きくなってからはあまり手をかけず育ってくれた。
- ・コスモスは10月中旬まで咲き続けた。
- ・来年もぜひ種から育ててみたい

うまくいかなかった

- ・苗作り：種まきから1週間くらいで双葉が出たが、乾燥させてしまい枯らしてしまった。
- ・直播き（マリーゴールド）：芽は出たが、そこから育たなかった。

そのほか

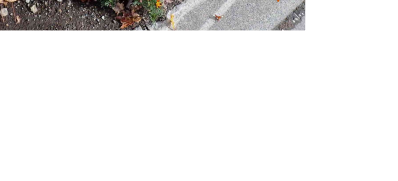
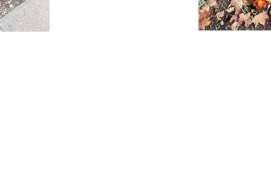
- ・花が咲くのが遅いので、もう少し早く取り組めれば良かった



マリーゴールド



コスモス サニー
コスモス ディアボロ



コスモス
ディアボロ

